

# 平成 27 年度事業実績報告

## 第 1 総括

- (1) 本年度は、“法人の事業開始 10 周年を記念し、その歩を振り返り、これからの事業展望を見据え、更なる事業活動の発展と介護人材の育成、地域貢献への飛躍を目指す”ことを目標に、①10 周年記念事業として記念式典、祝賀会、記念夏祭りの開催、10 周年記念誌の発行等多くの内外の皆様のご支援、ご指導のもと成功裡に実施。②介護保険制度改定初年度に当たっての加算算定、運営等基準の運用強化、居宅介護支援センターみわの里の本格稼働等。③介護人材等人材の育成、確保に向けて福知山民間社会福祉施設連絡協議会での介護・福祉人材養成センターの開設開始(成美大学にて)、同研修への指導看護師の派遣、介護職員実務者研修受講(終了者 2 名)、認知症介護実践者等研修(実践者、リーダー研修)・ユニットケアリーダー研修への受講、認知症介護実践者リーダー研修実習受入れ(3 名受入れ)、法人内研修プログラムに基づく研修実施、介護の日イベント参加(JR 福知山駅前広場にて)等。④地域との連携・貢献活動として地域包括ケア推進ネットによるオレンジロードつなげ隊への参加、地域のクリーンキャンペーンへの参加(小中学生徒とともに。)、 “認知症カフェ”の開催(JA にのくに三和支店、菟原下老人憩いの家にて)。

こうした取り組みを通じて、より一層ご利用者・ご家族様をはじめ地域に貢献でき、ニーズに応えられ、信頼される事業所づくりに努めてきました。

各事業所の事業運営については、介護保険制度マイナス改定のもとで、厳しい運営が予測され、経営の悪化が余儀なくされる事態を懸念しつつ可能な加算算定、体制の整備検討等の努力を試みたものの居宅系サービス(デイサービス、ショートステイ等)の利用稼働率が訪問看護を除き、大きく低迷しマイナス改定と相まって経営の不安定化、悪化を招く結果となりました。

京都府北部地域とりわけ近隣地域の介護施設、介護サービス事業所の増加や利用者の入院の増加、重度化の伴う医療措置の必要な要介護者の増加など幾つかの環境的な要因が稼働率の低調な状況に反映していると考えられますが、状況を克服するための法人の主体的な活動として居宅介護支援センターみわの里の活動強化と各事業所との連携強化、利用受入れの対応強化、臨機の事業所運営の効率化・合理化の検討と対応等で事業所運営の安定化・健全化を進めるとともに、地域とご利用者様のニーズに応える更なる努力が喫緊の課題です。

また、各事業所内での取り組みの状況は、本地域でも近隣施設でインフルエンザが流行する等大変な脅威となりましたが、法人内では、ノロウイルス感染が一部あり、ご利用者の結核の発症もありましたが、保健所との連携・協力の中で感染拡大防止・予防対策の推進で大流行には至らず比較的平穏な生活を支援することができました。

さらに、例年のとおり利用者満足度調査の実施、各部署での事業目標の設定と評価の実施、苦情解決の取り組み、全国の悲惨な高齢者虐待事例に鑑み、不適切なケアの洗い出しや高齢者虐待防止法などの再確認等の取り組みを強化・推進してきました。

法人施設全体では、年々ご利用者様の重度化が進み、特養等での看取り介護の取り組みや様々な処遇困難事例も増加する中で、3割近い入退所の変化があり、スタッフ人員不足の中困難な状況もありましたが、事業計画に基づく四季折々の行事等にご利用者様の状況を配慮しながら生活支援に努めてきました。

こうした取り組みを基盤に、地域の介護ニーズや課題をしっかりと把握し、厳しい環境を克服する運営経営戦略を見据え、地域とともに共生する社会福祉法人の姿を示しながら地域に無くてはならない存在として更に飛躍する取り組みの強化が課題です。

また、引き続き深刻な介護人材不足に対応した人材の育成、確保・定着をより一層促進し、健全な運営を図ることが課題です。

さらに、介護保険制度改定に伴う要支援者への総合事業への移行（平成29年度）等に対応した介護サービスの展開や検討をすすめることが課題です。

さらに、法人全体としては、制度改定の厳しい影響を考慮しながら安定した健全な運営を確保するために、介護サービスの提供体制・事業のあり方、加算制度の積極的な活用や利用促進のためのきめ細かな状況分析と対策等を強化することが課題です。

#### <27年度稼働状況>

特養利用	: 96.04%	(47.6人/日)	(定員50名)
短期利用	: 92.47%	(9.2人/日)	(定員10名)
グループホーム	: 99.55%	(9.0人/日)	(定員9名)
通所利用	: 76.66%	(19.2人/日)	(定員25名)
GHデイサービス	: 39.89%	(1.2人/日)	(定員3名)
訪問看護	: 263.8件		
老人デイサービス	: 81.34%	(20.3人/日)	(定員25名)
支援ハウス	: 54.51%	(5.7人/日)	(定員10名)
自立生活支援	: 0.00%	(0人/日)	(定員5名)
居宅介護支援	: 23.5件		

- (2) 本年度は、介護・看護職人材の確保・定着の課題については、人材の確保に困難な状況が続き、施設運営・経営の側面では、ご利用者の入院の増加や新しく開設した施設への入所決定などにより特に、デイサービスや短期入所等居宅サービスの利用減少が目立ちました。一方、早期に退院される高齢者の増加に伴い、訪問看護については、比較的多くの利用者数となり、受入れ体制が追いつかない状況も継続しました。また、居宅介護支援センターみわの里も市社協からの利用者の移管もあり、年度末近くに急激な利用者増がありましたが、居宅みわの里の公用車による交通事故が発生し、ケアマネージャーが全て負傷、急きょスタッフ体制の変更等予定外の状況が生まれ、様々な影響を余儀なくされました。

こうした状況は、法人での人材育成、看取り介護、認知症対応等介護サービスの質の向上への取り組み、各種報酬加算の取得、利用調整の努力等一定取り組みは評価できるものの、厳しい環境の中で、ご利用者へのサービス提供に結実させるまでには至らなかった結果です。

また、運営・経営面においては、短期入所、通所介護等居宅サービスを中心に前年度実績を大きく下回り、グループからの支援によって黒字を確保している状態です。この運営収支の改善が法人の大きな課題となっています。

今後は、利用促進に向けて居宅介護支援センターみわの里をはじめ各事業所の利用目標の達成への取り組み強化、事業の点検、見直し、業務の効率化、合理化等見直し等を徹底強化するとともに、法人本部・事務局や管理者を中心に現状を的確に分析し、経営戦略を明確にした積極的な取り組みを確実に積極的に行い、運営・経営の安定化の確保に取り組むことが最大の課題です。

- (3) 利用者や家族にとって、各介護事業所が如何に良好で良質な介護サービスを提供することができるかが利用選択の要と位置づけ、職員の介護の質、介護技術の向上、倫理や使命などに亘り、施設内のカリキュラムに基づく研修実施、また、施設外のキャリア・階層別職員研修への研修派遣、さらに、地域活動貢献委員会等による認知症カフェの開催、認知症介護実践リーダー研修実習受入れ、認知症サポーター養成講座の開催、介護人材養成センターへの指導看護師派遣等各々の職員がその経験と実績を活かして主体的に取り組む活動も活発に進めてきました。

介護人材の著しく不足の中で、系統的かつ計画的な介護福祉人材育成を図るため、人材育成指針に基づくシステムの構築、京都府人材育成認証に基づく実務者研修の受講促進、大学等就職希望者見学会の受入れ、メンタルヘルスの推進等昨年度の実績を踏まえた介護人材の確保・定着・育成に向けた取り組みの強化を図りました。この成果を今後に継続的に活かし、発展させることが課題です。職員が働き続けたい施設、ご利用者が利用したい施設づくりを一層進めなければなりません。

今年度も各職員の挑戦により介護支援専門員合格者1名、介護福祉士資格の合格者が4名あり、在籍職員の受験可能な介護スタッフがほぼ介護福祉士資格を取得し、法人全体のレベルアップと今後の事業展開や加算要件の確保等に向けて成果を上げることができました。

今後とも、資格取得試験の変化等に対応した研修受講や喀痰吸引などの技能習得者の育成・確保を目指す取り組みが課題です。

プロの介護福祉組織集団として法人理念・方針や働きがいの共有などに基づく人材づくりと事業所づくりを更に強化することが課題です。

## 第2 法人運営状況

### 1 法人役員会

#### (1) 理事会

開催年月日	出席者数	議案等
平成27年 5月21日	8名	理事及び監事選任の件、平成26年度事業報告及び決算報告の件、就業規則変更(案)の件
平成28年 3月15日	9名	評議員変更の件、運転資金借入(案)の件、平成27年度補正予算(案)の件、平成28年度事業計画(案)及び予算(案)の件

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数	議案等
平成27年 5月21日	13名	評議員選任の件、平成26年度事業報告及び決算報告の件、就業規則変更(案)の件 運転資金借入(案)の件、平成27年度補正予算(案)の件、平成28年度事業計画(案)及び予算(案)の件
平成27年 3月16日	14名	

(3) 監事監査

開催年月日	出席者数	監査
平成27年5月19日	1名	平成26年度決算監査

2 業務概要・・・別紙1の通り

3 理事等役員及び職員数

	理事等			職員				合計
	理事	評議員	監事	常勤	非常勤	職員計	契約	
平成26年度末	10	21	2	59	50	109	※7	116
平成27年度末	10	21	2	54	58	112	※4	116

※非常勤職員 58名の内4名は派遣職員(アイワークス1名、テクノサービス1名、福知山市シルバー人材センター:事務宿直要員1名、デイ送迎要員1名)。契約職員4名(福知山市シルバー人材センター:事務宿直要員2名、日直要員2名)。

第3 利用者に対する主要な処遇施策の実施状況

1 加算体制(施設で導入している加算体制)

(1) 特別養護老人ホーム

- ① 個別機能訓練加算 加算単位 : 12単位/日
- ② サービス提供体制強化加算(I)ロ 加算単位 : 12単位/日  
(27.5月まで)
- ③ 日常生活継続支援加算 加算単位 : 46単位/日  
(27.6月から)
- ④ 栄養マネジメント加算 加算単位 : 14単位/日
- ⑤ 療養食加算 加算単位 : 18単位/日
- ⑥ 看護体制加算(I) 加算単位 : 6単位/日
- ⑦ 看護体制加算(II) 加算単位 : 13単位/日
- ⑧ 看取り介護加算  
(死亡日前4日以上30日以下) 加算単位 : 144単位/日  
(死亡日前日又は前々日) 加算単位 : 680単位/日  
(死亡日) 加算単位 : 1280単位/日
- ⑨ 夜勤職員配置加算(II) 加算単位 : 27単位/日
- ⑩ 外泊加算 加算単位 : 246単位/日

⑪ 退所時前後訪問相談援助加算	加算単位	: 460 単位/回
⑫ 退所時相談援助加算	加算単位	: 400 単位/回
⑬ 退所前連携加算	加算単位	: 500 単位/回
⑭ 初期加算	加算単位	: 30 単位/日
⑮ 介護職員処遇改善加算 (I)	合計の 1000 分の 59 単位/月	

(2) 短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護

① 機能訓練指導員配置加算	加算単位	: 12 単位/日
② サービス提供体制強化加算 I	加算単位	: 12 単位/日
③ 看護体制加算 (I)	加算単位	: 4 単位/日
④ 看護体制加算 (II)	加算単位	: 8 単位/日
⑤ 夜勤職員配置加算 (II)	加算単位	: 18 単位/日
⑥ 送迎加算 (片道)	加算単位	: 184 単位/日
⑦ 療養食加算	加算単位	: 23 単位/日
⑧ 在宅中重度受入加算	加算単位	: 413 単位/日
⑨ 若年性認知症利用者受入加算	加算単位	: 120 単位/日
⑩ 介護職員処遇改善加算 (I)	合計の 1000 分の 59 単位/月	

(3) デイサービス、介護予防通所介護

① 個別機能訓練加算 (I)	加算単位	: 46 単位/日
② 個別機能訓練加算 (II)	加算単位	: 56 単位/日
③ 入浴介助加算	加算単位	: 50 単位/回
④ サービス提供体制強化加算 I イ	加算単位	: 18 単位/日
⑤ 栄養改善加算 (対象者のみ)	加算単位	: 150 単位 (月 2 回限度)
⑥ 介護職員処遇改善加算 (I)	合計の 1000 分の 40 単位/月	

(介護予防)

⑦ サービス提供体制強化加算 I イ		
要支援 1	加算単位	: 72 単位/日
要支援 2	加算単位	: 144 単位/日
⑧ 運動機能向上加算	加算単位	: 225 単位/月
⑨ 口腔機能向上加算 (対象者のみ)	加算単位	: 150 単位/月
⑩ 栄養改善加算 (対象者のみ)	加算単位	: 150 単位/月
⑪ 選択的サービス複数実施加算 (I)	加算単位	: 480 単位/月
⑫ 介護職員処遇改善加算 (I)	合計の 1000 分の 40 単位/月	

(4) グループホーム

① 初期加算 (30 日限度)	加算単位	: 30 単位/日
② 医療連携体制加算	加算単位	: 39 単位/日
③ サービス提供体制強化加算 (I) ロ	加算単位	: 12 単位/日
④ 看取り介護加算		
(死亡日前 4 日以上 30 日以下)	加算単位	: 144 単位/日
(死亡日前日又は前々日)	加算単位	: 680 単位/日
(死亡日)	加算単位	: 1280 単位/日
⑤ 退居時相談援助加算	加算単位	: 400 単位/回
⑥ 認知症行動・心理症状緊急対応加算	加算単位	: 200 単位/日

(入居より7日間限度)

- ⑦ 若年性認知症入所者受入加算 加算単位 : 120単位/日
- ⑧ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 合計の1000分の83単位/月

(5) グループホームデイサービス、介護予防通所介護

- ① 入浴介助加算 加算単位 : 50単位/回
- ② サービス提供体制強化加算Ⅰイ 加算単位 : 18単位/日
- ③ 若年性認知症入所者受入加算 加算単位 : 60単位/日
- ④ 栄養改善加算(対象者のみ) 加算単位 : 150単位  
(月2回限度)
- ⑤ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 合計の1000分の68単位/月

(6) 訪問看護、介護予防訪問看護

- ① 特別地域介護予防訪問看護加算 基本料金の15%増
- ② 緊急時訪問看護加算 加算単位 : 540単位/月
- ③ 特別管理加算Ⅰ 加算単位 : 500単位/月
- ④ 特別管理加算Ⅱ 加算単位 : 250単位/月
- ⑤ 長時間訪問看護加算 加算単位 : 300単位/月
- ⑥ 早朝、夜間加算 基本料金の25%増
- ⑦ 深夜加算 基本料金の50%増
- ⑧ ターミナル加算 加算単位 : 2000単位/回
- ⑨ サービス提供体制強化加算 加算単位 : 6単位/日

(7) 老人デイサービスセンター、介護予防通所介護

- ① 入浴介助加算 加算単位 : 50単位/回
- ② サービス提供体制強化加算Ⅰイ 加算単位 : 18単位/日
- ③ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 合計の1000分の40単位/月  
(介護予防)
- ④ サービス提供体制強化加算Ⅰイ  
要支援1 加算単位 : 72単位/日  
要支援2 加算単位 : 144単位/日
- ⑤ 生活機能向上グループ活動加算 加算単位 : 100単位/日
- ⑥ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 合計の1000分の40単位/月

2 医療・健康管理実施状況

	月曜日	木曜日	摘要
整形外科医	○	○	午後2時～午後4時30分

受診延べ件数	137件
救急搬送延べ件数	5件
看取り利用者	12名

インフルエンザ予防接種	11月2日から11月21日 利用者54名(特養45名、GH9名)
-------------	-------------------------------------

### 3 生活環境・行事

#### (1) 理・美容サービス

入所者、通所者の希望者に対し、月1～2回、ちょきぞうは車寄せ、TANABEはユニット浴室等において理・美容師による理・美容サービスを実施

ちょきぞう利用者延べ数326名	TANABE	70名
-----------------	--------	-----

#### (2) 施設行事等

月	施設行事	行事内容
4月	花見ドライブ	ユニットピア篠山、観音湯他
6月	運動会 23日	交流ホールを利用し運動会を実施。
7月	七夕まつり 7日	短冊を飾り、流しそうめん実施
	夏まつり 26日	夜店と花火大会、盆踊りを行う
9月	10周年記念式典 2日	開設10周年を記念した式典の実施。
	敬老祝賀会 15日	敬老の日のお祝い
10月	作品展示 22～28日	利用者様、園児～高校生、地域住民の方等の作品を展示
12月	ケーキデリバリー 21日	交流ホールにてケーキデリバリーを実施。
2月	節分(豆まき) 3日	豆まきを行う
3月	家族交流会 27日	利用者様ご家族と交流を行う

### 4 苦情・要望の状況

(1) 苦情・要望件数：4件(口頭、電話)

(2) 苦情等の内訳

職員の対応、守秘義務、服薬事故、送迎時の対応

(3) 苦情等の解決、処理

本人に事実確認を行い、苦情解決委員会を開催し職員に周知徹底を図り、再発防止に努めた。

## 第4 職員管理

### 1 職員教育・研修

別紙2の通り

### 2 消防訓練等

(1) 消防避難訓練

・夜間想定消防訓練(6月15日)・総合消防訓練(11月4日)

(2) その他

消防設備法定点検(4月3日、11月24日)実施：大槻ポンプ工業(株)

法定防虫駆除(5月13日)(9月10日)実施：イカリ消毒(株)

大浴槽水質検査(9月25日)(3月18日)実施：京都微生物研究所

浄化槽法定点検（12月3日）実施：京都微生物研究所  
貯水槽清掃（10月23日）実施：昭和リース  
簡易専用水道検査（12月3日）実施：京都微生物研究所

### 3 健康管理

#### (1) 職員健康診断

- ・ 7月23日 全職員対象 90名
- ・ 1月19日 夜勤・宿直・看護・介護（腰痛検査）対象 35名

#### (2) 職員インフルエンザ予防接種

- ・ 接種者 98名（11月30日～12月3日）

## 第5 施設・設備及び備品の整備（単位：円）

### 1 器具及び什器購入及び設備増設

<みわの里>

衣類乾燥機 3台 87,120円、洗濯機 3台 201,600円、電動ポット 10,778円、スライドターンテーブル 24,084円、パソコン 2台 198,288円、残留塩素測定器 20,520円、机下台 18,089円、車イス 61,560円、シャワー用車イス 45,792円、加湿器 10,589円、ベット用マットレス 22,624円

<高齢者センター>

パソコン（関連用品も含め）2台 296,676円

### 2 器具及び什器等の修繕（単位：円）

<みわの里>

浴室修理 7回 375,397円、トイレ修理 4回 47,952円、厨房水廻修理 11,772円、浄化槽修理 51,840円、照明器具修理 2回 50,674円、エアコン修理 4回 146,718円、車輛修理 4回 107,335円、調理設備修理 80,000円、通用口修理 2回 25,833円、配線工事 59,400円、スプリンクラー修理 70,200円、備品修理 3回 14,138円、フェンス修理 216,000円、居室修理 216,000円、消防設備修理 16,200円、駐車場修理 20,520円

<高齢者センター>

トイレ修理 62,640円、ボイラー修理 22,032円

### 3 固定資産（単位：円）

<みわの里>

器具及び備品取得

エアコン 129,600円

### 4 寄付受け

決算報告の通り

## 第6 部外への協力等



## 1 体験学習の受入れ

### ・職場体験

- 三和中学校 すこやかの家 2名 (8/5・8/6)
- 高齢者生活福祉センター 2名 (8/4・8/5)
- 淑徳高等学校 デイサービスセンターみわの里 1名 (7/27～7/29)
- 1名 (8/25～8/27)

### ・社会福祉体験学習

- 三和中学校 高齢者生活福祉センター 3名 (7/23・7/24)
- 1名 (7/29・7/30)
- 1名 (8/4・8/5)

## 2 市、団体行事への参加

- ・愛いろいろ展 (10/19～10/23)
- ・ふれあい福祉フェスタ (10/18)
- ・介護の日大作戦 2015 (11/11)
- ・三和ふれあいフェスティバル (11/8)

## 3 地域貢献の活動

- ・クリーンキャンペーン 27.10.16 (金)
- ・みわ里カフェ 27.11.6 (金) : J Aにのくに三和支店 2階
- 28.3.18 (金) : 菟原下一憩いの家
- ・認知症に関する相談窓口の開設 (27.4.1～28.3.31)
- ・菟原地域お正月大会参加 (菟原小学校) 28.1.9 (土)
- ・みわの里文化祭&介護相談・介護の仕事相談会 27.10.24 (土)

## 4 その他

- ・介護・福祉人材養成センターへの指導看護師派遣 2名 (成美大学)
- ・認知症実践者リーダー研修実習生受入 (9月2名、10月1名)

## 第7 ボランティアの受入れ (行事協力を除く)

- ・介護支援サポーター 傾聴、絵手紙他

## 第8 平成27年度各事業別実績

- ・特別養護老人ホーム「みわの里」 別紙3
- ・ショートステイ「みわの里」 //
- ・デイサービスセンター「みわの里」 別紙4
- ・グループホーム「すこやかの家」 別紙5
- ・訪問看護ステーション「みわの里」 別紙6
- ・福知山市三和町高齢者生活福祉センター・  
老人デイサービスセンター 別紙7
- ・利用実績一覧 別紙8